



平成 27 年 6 月 16 日

各 位

会 社 名 ティアック株式会社
代表者名 取締役社長 英 裕治
(コード番号 6803 東証第 1 部)
問合せ先 財務部長 吉村邦彦
(TEL 042-356-9178)

(訂正・数値データ訂正)「平成 27 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正について

当社は、平成 27 年 5 月 13 日に発表いたしました「平成 27 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載事項に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせします。訂正箇所には下線を付して表示しております。

1. 訂正の理由

平成 27 年 3 月期決算短信発表後の有価証券報告書の作成過程におきまして、連結キャッシュ・フロー計算書及びセグメント情報等の記載に一部訂正が生じたので、提出済みの決算短信を訂正させていただくものであります。

2. 訂正の内容

[サマリー情報]

【訂正前】

1. 平成27年 3 月期の連結業績 (平成26年 4 月 1 日～平成27年 3 月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
27年 3 月期	百万円 <u>△360</u>	百万円 <u>45</u>	百万円 △389	百万円 2,825
26年 3 月期	366	1,490	△2,455	3,175

【訂正後】

1. 平成27年 3 月期の連結業績 (平成26年 4 月 1 日～平成27年 3 月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
27年 3 月期	百万円 <u>△582</u>	百万円 <u>267</u>	百万円 △389	百万円 2,825
26年 3 月期	366	1,490	△2,455	3,175

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(2) 財政状態に関する分析

② キャッシュ・フローの状況の分析

【訂正前】

(省略)

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は、360百万円のマイナス（前期 366 百万円のプラス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、売上債権の増減額の減少 1,693 百万円、マイナス要因としては、退職年金基金へ 1,000 百万円の特別拠出を行ったことによる退職給付に係る負債の増減額の減少 1,383 百万円であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動の結果得られた資金は、45百万円のプラス（前期 1,490 百万円のプラス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、事業譲渡による収入 355 百万円、投資有価証券の売却による収入 94百万円、マイナス要因としては、有形固定資産の取得による支出 276 百万円、無形固定資産の取得による支出 140 百万円であります。

(省略)

【訂正後】

(省略)

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は、582百万円のマイナス（前期 366 百万円のプラス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、売上債権の増減額の減少 1,693 百万円、マイナス要因としては、退職年金基金へ 1,000 百万円の特別拠出を行ったことによる退職給付に係る負債の増減額の減少 1,383 百万円であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動の結果得られた資金は、267百万円のプラス（前期 1,490 百万円のプラス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、事業譲渡による収入 355 百万円、投資有価証券の売却による収入 316百万円、マイナス要因としては、有形固定資産の取得による支出 276 百万円、無形固定資産の取得による支出 140 百万円であります。

(省略)

5. 連結財務諸表

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー (中略)		
その他の流動資産の増減額 (△は増加) (中略)	45	<u>111</u>
小計 (中略)	570	<u>△352</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	366	<u>△360</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入 (中略)	107	<u>94</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,490	<u>45</u>

【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー (中略)		
その他の流動資産の増減額 (△は増加) (中略)	45	<u>△110</u>
小計 (中略)	570	<u>△575</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	366	<u>△582</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入 (中略)	107	<u>316</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,490	<u>267</u>

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

【訂正前】

当連結会計年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	音響機器事業	情報機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,677	6,515	19,193	1,134	20,328
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,677	6,515	19,193	1,134	20,328
セグメント利益又は損失 (△)	△504	215	△289	19	△270
セグメント資産	5,617	2,719	8,336	308	8,644
その他の項目					
減価償却費	226	121	347	10	357
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	<u>151</u>	<u>35</u>	<u>186</u>	<u>0</u>	<u>186</u>

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EMS事業を含んでおります。

【訂正後】

当連結会計年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	音響機器事業	情報機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,677	6,515	19,193	1,134	20,328
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,677	6,515	19,193	1,134	20,328
セグメント利益又は損失 (△)	△504	215	△289	19	△270
セグメント資産	5,617	2,719	8,336	308	8,644
その他の項目					
減価償却費	226	121	347	10	357
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	<u>313</u>	<u>56</u>	<u>369</u>	<u>1</u>	<u>371</u>

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EMS事業を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

【訂正前】

（省略）

（単位：百万円）

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額（注）		連結財務諸表 計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	296	347	12	10	77	63	384	420
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	124	<u>186</u>	0	<u>0</u>	142	<u>12</u>	266	<u>199</u>

（注） 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社建物の設備投資額であります。

【訂正後】

（省略）

（単位：百万円）

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額（注）		連結財務諸表 計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	296	347	12	10	77	63	384	420
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	124	<u>369</u>	0	<u>1</u>	142	<u>51</u>	266	<u>423</u>

（注） 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社建物の設備投資額であります。